

年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2023年4月10日
- 事業名 : 避難所運営の人材育成と支援調整のための全国ネットワークを形成する
- 資金分配団体 : 特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム
- 実行団体 : 一般社団法人 ピースポート災害支援センター (PBV)

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
1-1) 過去の被災地支援の記録から、避難所運営や避難生活に関する課題を整理する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所運営や避難生活における課題が整理されているか。 ・ 整理した課題の分析がされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整理した課題の数: 300件/5ヵ所の被災地事例 ・ 課題の分類化: 分類されている ・ 課題の分析: 分析されている 	2023年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整理した課題の数: 約 2,600件/7ヵ所の被災地事例 ・ 課題の分類化: 分類中 ・ 課題の分析: 分析中 	2
1-2) 自治体職員の避難所運営に対する課題感を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体職員を対象とした避難所運営に関する課題が調査されているか。 ・ 調査結果をもとに課題の整理・分析がされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体職員への調査依頼件数: 1,741件 ・ 調査の回答数: 200件 	2023年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体職員への調査依頼件数、調査の回答数 ▼中長期の避難所運営経験がある職員向けアンケートの実施 	2

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果に対する分析：分析されている（分析・考察協力者数：5人） 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼数：53 市町村／19 道府県 ・ 回答数：78 件（35 市町村／17 道府県） <p>▼中長期の避難所運営に関するアンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼数：1,702 市区町村／47 都道府県 ・ 回答数：557 件（539 市区町村／44 都道府県） <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果に対する分析：分析中（分析・考察協力者数：12人） 	
2-1) 課題解決のためのツール開発。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整理・分析した内容から、課題の優先順位が決められているか。 ・ 避難所運営や避難生活の課題解決に繋がるツールが作成されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ツール開発のための検討会の実施回数：5 回 ・ 作成したツールの数：1 個 	2024 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ツール開発のための検討会の実施回数：21 回 ・ 作成したツールの数：2 個（試行・改良中） 	2
2-2) 開発したツールを用いた、避難所運営を担う人材育成のための説明会及び研修会等の実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体職員や避難所運営支援に関わる支援団体を対象とした説明会や研修が行われているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発ツールを活用した説明会及び研修会等の実施回数／6 回 ・ 開発ツールを活用した説明会及び研修会等の参加者数／120 人 	2024 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発ツールを活用した説明会及び研修会等の実施回数／0 回 ・ 開発ツールを活用した説明会及び研修会等の参加者数／0 人 	2

	・避難所運営の人材育成において、開発したツールが活用されているか。				
3-1) 被災地域における避難所運営のコーディネーションおよび支援調整のための連携・ネットワーク形成につながるツールの作成と共有。	・避難所支援の経験者や組織と連携し、ツールの内容が検討されているか。 ・過去の避難所間の支援調整における課題と、必要な支援等が可視化されているか。	・ツール開発のための検討会の実施回数：5回 ・作成したツールの数：1個 ・作成したツールの共有数：100件	2024年3月	・ツール開発のための検討会の実施回数：3回 ・作成したツールの数：0個 ・作成したツールの共有数：0件	2

* 進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値

3. (任意) 活動に関する報告

●アウトプット 1-1 に関する活動：過去の被災地支援の記録から、避難所運営や避難生活に関する課題を整理する。

東日本大震災を除く 2011 年以降の被災地支援の記録から、避難所運営や避難生活に関する課題の抽出、整理を行っている。整理においては、種類や発災場所等が異なる災害を対象とし、なるべく一つの事象に偏らないように工夫しながら作業を行った。また現在、各被災地の避難所で繰り返し発生している内容等を把握するため、「繰り返し課題」「発生課題」「潜在・顕在課題」「その他」の 4 つの課題分類に分け、整理を行っている。

●アウトプット 1-2 に関する活動：自治体職員の避難所運営に対する課題感を把握する。

これまでの災害対応や防災・減災教育および人材育成の経験から、被災者の尊厳を守り、避難生活の質を保つためには、地域で動ける人材を育成し増やす必要があると考える。そのためには、日頃から地域で研修等を行い、有事には運営の中核を担う自治体が、避難所における課題や被災者のおかれる状況を理解することが重要である。そこで、自治体職員が抱える課題や困難、悩みなどを把握するため、過去の被災自治体に対して「避難所運営等を経験した自治体職員における困難や課題等に関するアンケート」と、都道府県の協力を得て全国の自治体に対して「避難所運営における困難や課題等に関するアンケート」の二つの調査を行った。アンケートの作成および依頼協力においては、各連携団体やアドバイザー等と丁寧に意見交換を重ねて実施した。現在は、調査の集計を終え、調査結果のまとめ作業と考察依頼を行っている。今後、調査結果と考察をもとに分析し、よりよいツールの開発に努めていく。

●アウトプット 2-1 に関する活動：課題解決のためのツール開発。

アウトプット 1-1、1-2 の結果をもとに、現在、考察・分析を行っている最中だが、並行してツールの検討を進めている。現時点のツール候補は、自治体職員向けおよび自治体主体で行う市民向け講座に活用できる避難所運営の人材育成の研修・演習教材。また、中長期の避難所における課題の状況を把握するためのアセスメントシート。支援調整に必要な知識や連携における共通認識を得るためのガイドラインなどの作成を思案している。先だって、中長期の避難所のアセスメントシートにおいては、シート案を作成し、連携団体である JVOAD 避難生活改善に関する専門委員会や保健医療福祉等の専門家の方々に助言をいただき、実際に 2021 年 8 月豪雨災害で被害を受けた佐賀県内の避難所で試行した。今後、試行結果をもとに改良を進めていく。また、研修・演習教材においては、避難所の環境整備を実際に体験する模擬体験演習を作成した。港区主催の防災研修や内閣府防災主催の避難生活支援・防災人材育成エコシステムのリーダー・サポーター養成研

修において、当団体より企画を提供し、まずは一般市民の受講者に向けて試行した。今後も作成したツールを活用できる場において、相互連携を図り、課題解決の具体化に向けてさらなる改良に取り組んでいく。

●アウトプット 2-2 に関する活動：開発したツールを用いた、避難所運営を担う人材育成のための説明会及び研修会等の実施。

課題整理、ツール開発等に並行して、本事業の波及効果を高めるため、人材育成の対象である避難所運営支援に関わる支援団体や自治体職員、市民などが多く集まる、内閣府防災主催の「ぼうさいこくたい」や JVOAD 主催の「災害時の連携を考える全国フォーラム」等に参加し、ツールの紹介や本事業における取り組みについて、周知できるよう計画している。また、本事業終了後も避難所や避難生活の課題および作成したツールの普及啓発に繋がるよう、資金分配団体やアドバイザー等と定期的に意見交換、情報交換を行い、企業や団体組織との連携など、持続的な取り組みに関するアドバイスをいただいている。

●アウトプット 3-1 に関する活動：被災地域における避難所運営のコーディネーションおよび支援調整のための連携・ネットワーク形成につながるツールの作成と共有。

避難所間の支援調整を行う仕組みや人材不足により、被災者に必要な支援が十分に行き届かない状況が大きな課題である。それに対し、避難所支援の経験者や組織と連携し、対応経験や避難生活に必要な支援等を可視化し、被災地・被災者支援における共通の考え方や認識をもつ必要があると考える。そのため、被災地域内における避難所間の支援調整に関する事例や指標などをまとめたコーディネーションガイドラインの作成を計画している。作成においては、連携団体の JVOAD 避難生活改善に関する専門委員会やアドバイザー、その他、有識者や知見・経験者などの協力を得て、検討会の設置を予定している。同時に、当団体にて骨子を作成中。

●その他

本事業の推進にあたり、連携団体である JVOAD 避難生活改善に関する専門委員会や岡山 NPO センターとの打ち合わせや意見交換を定期的に行い、人材育成や支援調整のための連携・ネットワークの形成につながる取り組みに向けて議論を重ねている。また、2019 年九州北部豪雨災害と 2021 年 8 月豪雨災害にて、被災に遭われた佐賀県で地元自治体や団体等と連携・協働しながら支援事業を展開したことをきっかけに、県の CSO 誘致に応え、2023 年 2 月より佐賀県に PBV 九州・中国地方支部を構え、災害常襲地域でのネットワーク構築等の事業展開を進めている。それに伴い、中間支援組織である佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）に加盟し、平時有事ともに連携・ネットワーク形成の構築に努めている。

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況	
<input type="checkbox"/> 自団体のウェブサイトに表示している	<input checked="" type="checkbox"/> 広報制作物に表示している
<input checked="" type="checkbox"/> 報告書に表示している	<input type="checkbox"/> イベント実施時に表示している
<input checked="" type="checkbox"/> その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：Facebook 等 SNS の情報発信時に表示している	
2. 広報	
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	
●2021年度：15件（内訳：新聞13件、Web11件、その他冊子1件）	
※詳細は2021年度末報告書に記載の通り	
●2022年度	
・2022年6月14日	PBV公式ホームページ（事例集） 『災害時の炊き出しに関わる 課題・解決事例集 ～災害時の避難生活の「食」にまつわる課題 36事例～』 https://pbv.or.jp/wpPBV/wp-content/uploads/2022/06/mintaki.pdf 避難所での炊き出しの実施や、食事提供に関する事例を掲載
・2022年7月13日	PBV公式ホームページ（ブログ） 「【炊き出し事例集発表会】ご報告&アンケート結果」 https://pbv.or.jp/blog/?p=30352
・2022年9月10日	PBV公式 Facebook 「避難所運営における困難や課題等に関するアンケートを実施しました」 https://www.facebook.com/PBVsaigai/posts/9091234457617575
・2023年1月17日	NHK解説委員室 「阪神・淡路大震災28年～地域防災力を高めるために」 https://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/700/478490.html
・2023年2月	消防防災科学センター（書籍） 「地域防災データ総覧 コロナ禍と防災減災対策に関する実務資料集編」で、コロナ禍の避難所運営について掲載 https://www.isad.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/02/all.pdf
・2023年3月4日	上田ケーブルビジョン（テレビ） 「避難所運営を考える 避難生活支援モデル研修」の様子を紹介 https://ucv.co.jp/program/report/20488/
・2023年3月10日	医歯薬出版（書籍） 「災害・緊急時の食と栄養 いますぐ知りたいアクションQ & A」で、食事支援・NPOとの連携事例について掲載

- ・ 2023 年 3 月 17 日 <https://www.ishiyaku.co.jp/search/details.aspx?bookcode=746610>
PBV 公式ホームページ（ブログ）
「風水害が多発する九州地方に新たな拠点（佐賀県）を開設します」
<https://pbv.or.jp/blog/?p=31978>

2. 広報制作物等

●2021 年度：0 件

●2022 年度

- ・ 2022 年 7 月 「PBV の避難所支援実績」を作成。これまでの避難所運営に関する実績を掲載。

3. 報告書等

●2021 年度：0 件

●2022 年度

- ・ 2022 年 7 月 PBV 「2021 年 8 月豪雨災害 活動報告書」
https://pbv.or.jp/wpPBV/wp-content/uploads/2022/07/2021_08gouu.pdf
- ・ 2022 年 8 月 25 日 PBV 「2021 年度 活動報告書」
https://pbv.or.jp/download/2021_PBV_report.pdf

4. イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

●2021 年度：1 件

※詳細は 2021 年度末報告書に記載の通り

●2022 年度：0 件

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）



避難所の環境整備を学ぶ「模擬体験演習」の実施の様子

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input type="checkbox"/> 未公開 → 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input checked="" type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input checked="" type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない → 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：